

【問】 2002年 大学入試センター 本試験 日本史B

古代の遺跡・遺物と歴史研究に関するA・Bの文章を読み、以下の問い(問1～6)に答えよ。

A 奈良県の飛鳥地域では、酒船石遺跡さかふねいしの近くで見つかった亀型石造物や、飛鳥池遺跡あすか いけの富本銭ふほんせんとその鑄型などのように、7世紀後半の遺跡・遺物が次々に発見されている。このころは、(a)改新の詔きしんのみことが発せられたのち、(b)律令国家の形成りつりょうこくかのけいせいに向かって、政治制度が整えられていった時期である。したがって、これらの遺跡・遺物は、『日本書紀』とあわせて、そのような当時の歴史を考えるための重要な研究資料となる。さらに、富本銭や、それが出土した大規模な工房跡のようすは、(c)白鳳文化はくほうぶんかを生み出した技術を具体的に示す資料としても、かけがえのないものである。

問1 下線部(a)について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 仏教を尊重し、各国に国分寺を建立することを定めている。
- ② 京・畿内や地方の行政制度を定めている。
- ③ 中央集権的な交通・軍事の制度を定めている。
- ④ 新しい租税制度を整備することを定めている。

問2 下線部(b)に関連して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。

- I 飛鳥浄御原令が施行された。
- II 庚午年籍が作られた。
- III 冠位十二階の制が定められた。

- ① I—II—III    ② II—I—III    ③ II—III—I    ④ III—II—I

問3 下線部(c)に関して、この文化に属する仏像として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

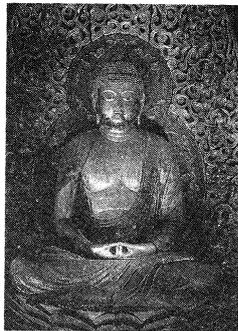
①



②



③



④



B 発掘調査で見つかる木簡などの文字資料は、史書からは知ることのできない多様な事実を明らかにしている。たとえば、<sup>(a)</sup>大宝律令の施行にともない、地方行政単位が「評」から「郡」に変更されていたことが、 跡出土木簡で確認され、平城京跡の貴族の邸宅跡で出土した木簡からは、<sup>(e)</sup>奈良時代の貴族の経済的基盤や日常生活の実態が浮かび上がった。また桓武天皇が奈良から遷都した 跡では、「東院」と記す木簡が出土して、遺跡の性格や造営の事情を知る材料となっている。

問4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 藤原京 イ 恭仁京      ② ア 恭仁京 イ 長岡京  
③ ア 長岡京 イ 恭仁京      ④ ア 藤原京 イ 長岡京

問5 下線部(d)に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 八色の姓が、はじめて規定された。  
② 刑部親王らによって<sup>へんきん</sup>編纂された。  
③ 部民制が、はじめて規定された。  
④ 養老律令の改訂法として編纂された。

問6 下線部(e)に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 貴族には、朝廷から封戸を得るなどの特権が与えられた。  
② 藤原不比等の4人の男子が、長屋王を自殺させ政権を握った。  
③ 藤原仲麻呂の政治に不満をもつ貴族が、橘諸兄を中心に反乱を起こした。  
④ 貴族の子や孫には、蔭位の制によって一定の位階の授与が保証されていた。

## 【解答】

A 問1 ①

問2 ④

問3 ④

B 問4 ④

問5 ②

問6 ③